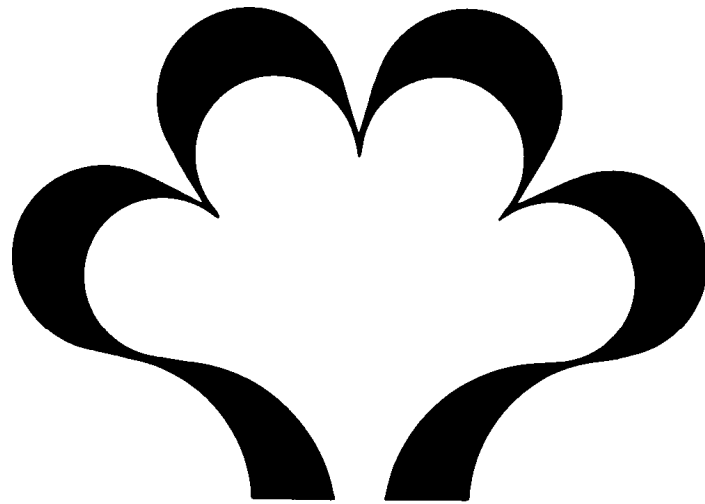


# REPORT 2019

ディスクロージャー誌



## OTOFUKE

本冊子は農業協同組合法第54条の3の規定に基づいて作成したディスクロージャー資料です。  
ディスクロージャー資料は、金融機関をご利用になるみなさまが各金融機関の経営方針や、財務  
内容等の開示された情報を基に自由に金融機関を選択できるようにするとともに、ご利用になる  
みなさまの厳しい選択の目のもとに各金融機関が率先して自己規正を図り、経営の健全性を確保  
することを目的とされています。

音更町農業協同組合

# 平成30年度ディスクロージャー

## 目次

<b>I. 組織概要</b>	1～18
1. 基本方針	2
(1) 経営方針	2
(2) JAおとふけの考え方	2
2. 事業のご案内	3～7
3. 組合組織	8～11
(1) 組合機構	8
(2) 組合員数	9
(3) 組合員組織	9
(4) 役員の氏名及び役職	10
(5) 事務所の名称及び所在地	11
(6) 組合地区	11
(7) 事務所・施設の概要	11
(8) 特定信用事業代理業者及び共済代理店の状況	11
4. 社会的責任と地域貢献活動	12～14
5. リスク管理の状況	15～17
6. 自己資本の状況	18
<b>II. 業績</b>	19～54
1. 事業の動き	20～34
(1) 事業の概況	20～32
(2) 主要業務の状況	33
2. 事業の成果	34～54
(1) 貸借対照表	34
(2) 損益計算書	35
(3) 剰余金処分計算書	36
(4) 注記表	37～50
(5) キャッシュフロー計算書	51～52
(6) 部門別損益計算書	53～54
<b>III. 信用事業</b>	55～68
1. 信用事業の考え方	56
(1) 金融商品の勧誘方針	56
(2) 貸出運営	56
(3) JAバンク苦情等対応体制	56
2. 信用事業の状況	57～58
(1) 利益総括表	57
(2) 資金運用収支の内訳	57
(3) 総資金利ざや	57
(4) 受取・支払利息	58
(5) 利益率	58
3. 貯金	59
(1) 科目別貯金平均残高	59
(2) 定期貯金残高	59
(3) 貯金者別貯金残高	59
4. 貸出金	60～63
(1) 科目別貸出金平均残高	60
(2) 貸出金の金利条件別内訳	60
(3) 貸出先別貸出金残高	60
(4) 貸出金の担保別内訳	60
(5) 債務保証見返額の担保別内訳残高	61
(6) 貸出金の使途別内訳	61
(7) 業種別の貸出金残高	61
(8) 主要な農業関係の貸出金残高	62
(9) 貯貸率・貯証率	63
(10) 貸倒引当金の期末残高及び期中増減	63
(11) 貸出金償却額	63

5. リスク管理債権残高	64
6. 金融再生法に基づく開示債権残高	65
7. 有価証券に対する指標	66
(1) 種類別有価証券平均残高	66
(2) 商品有価証券種類別残高	66
(3) 有価証券残存期間別残高	66
8. 有価証券等の時価情報	67
(1) 有価証券の取得価額または契約価額、時価及び評価損益	67
(2) 金銭の信託	67
(3) デリバティブ取引、金融等デリバティブ取引、有価証券関連店頭デリバティブ取引	67
9. 受託資金残高	68
<b>IV. その他の事業</b>	<b>69～74</b>
1. 共済事業	70～71
(1) 長期共済保有高	70
(2) 医療系共済の入院共済金額保有高	70
(3) 介護共済の介護共済金額保有高	70
(4) 年金共済の年金保有高	71
(5) 短期共済新契約高	71
2. 販売事業	72
(1) 受託販売品販売高	72
(2) 買取販売品販売高	72
(3) 共計品販売高	72
3. 保管事業	72
4. 購買事業	73
5. 共同乾燥事業	73
6. 生乳事業	73
7. 家畜預託事業	73
8. 乳検事業	74
9. 整備工場事業	74
10. 共通指導事業	74
<b>V. 自己資本の充実の状況</b>	<b>75～88</b>
1. 自己資本の構成に関する事項	76～77
2. 自己資本の充実度に関する事項	78～79
(1) 信用リスクに対する所要自己資本の額及び区分毎の内訳	78～79
3. 信用リスクに関する事項	80～83
(1) 標準的手法に関する事項	80
(2) 信用リスクに関するエクスポージャー(地域別、業種別、残存期間別)及び三月以上延滞エクスポージャーの期末残高	81
(3) 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	82
(4) 地域別・業種別の個別貸倒引当金の期末残高・期中増減額及び貸出金償却の額	82
(5) 信用リスク削減効果勘案後の残高及び自己資本控除額	83
4. 信用リスク削減手法に関する事項	84～85
(1) 信用リスク削減手法に関するリスク管理の方針及び手続の概要	84
(2) 信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額	85
5. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項	85
6. 証券化エクスポージャーに関する事項	85
7. 出資その他これに類するエクスポージャーに関する事項	86～87
(1) 出資その他これに類するエクスポージャーに関するリスク管理の方針及び手続の概要	86
(2) 出資その他これに類するエクスポージャーの貸借対照表計上額及び時価	87
(3) 出資その他これに類するエクスポージャーの売却及び償却に伴う損益	87
(4) 貸借対照表で認識され、損益計算書で認識されない評価損益の額	87
(5) 貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額	87
8. リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項	87
9. 金利リスクに関する事項	88
(1) 金利リスクの算定手法に関する事項	88
(2) 金利リスクに関する事項	89
<b>財務諸表の正確性等にかかる確認</b>	<b>90</b>
<b>沿革とあゆみ</b>	<b>91～93</b>
<b>ディスクロージャー誌の記載項目について</b>	<b>94～96</b>